

# はじめの一步

新潟県立小出特別支援学校進路指導部

NO. 81 (平成30年3月15日)



## ご卒業おめでとうございます

### 学校生活から社会生活へ 旅立ちの日に…

♪草の芽伸びゆく春の道～行く手示して浮かぶ雲～♪別れの時が今せまる～さよなら友よ～さよなら友よ～忘れまいこの日をいつまでも♪教室から「さよなら友よ」の歌声が聞こえてきます。

中学部へ、高等部へ、そして社会人になるという現実が一步一步近づいてまいりました。卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

今回の進路だよりは、高等部の卒業生保護者の皆様からお子さんのご卒業にあたり、成長した姿や今後の進路に関して書いていただいたものを紹介します。当校に通って学んだことや思うこと、社会参加について思うこと、親と子の葛藤、子育ての悩みや喜び、希望…など様々な思いが伝わってきます。

新しいステージへスタートする卒業生を、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

(お寄せいただいた原稿のみ、掲載させていただきます)

## ～ 高等部卒業生保護者より ～



☆入学したての頃はそれはそれは手のかかる生徒だったと思います。先生方も対応に困ることが多々あったことでしょう。

おとなしい羊の中に野生の猫が入ってきたようだ…察します。親もまたどうしたらよいかと悩んでいるところを根気強く指導していただきました。また、親には言いづらいことも言ってくれました。子どもと本気で向き合うこと、人は変われるということを教えてくれました。子どもを通して親の意識も変わってきました。親が変われば子どもも変わります。本気には本気が返ってきます。最近は大いぶ穏やかになり、いい顔で笑うようになりました。卒業したらちゃんと就職して一人暮らしがしたいと言っています。今のあの子ならきっとできると思います。「大丈夫です」と自信をもって言えることがとても嬉しいです。私たち家族は全力でバックアップしていきたいと思います。そして先生方、3年間あたたかく、時には厳しくご指導していただき、本当にありがとうございました。



☆特別支援学校には高等部からお世話になりました。それまではなるべく人と接することなく、自分のしたいことをただマイペースにしていたような子でした。高等部で学んで3年、今では入学した頃とは全く違い、学校では友だちもできて、いろいろなことに挑戦し、経験し、見違えるように成長したと思います。やいろジョブや職場実習などをする中で辛い仕事の経験もしました。3年生になってからは、私たち親が考えてもいなかった仕事を勧められ実習に行かせていただき、「楽しい！」と自分からやりたいという気持ちをもつことができ、その道に進んでいこうとがんばっています。これから社会に出るともっともっと大変で嫌だなと思うこともたくさんあると思います。そのたびに一つ一つ乗り越えていけるよう、これからも応援していきたいと思っています。3年間本当にありがとうございました。

☆知的障害があることがわかり、親子でたくさん悩み、考え、支援学校に行くことを決めました。これまでとは全く違う学校生活に最初は戸惑いもありましたが、日々子どもの表情が明るくなり、前向きになっていくのが手に取るように分かりました。個々の特性に合った指導、社会に出るために必要なこと、大切なことなどをたくさん学びました。就職にたどり着けるとは思ってもいなかったのも、指導してくださった先生方、支援して下さる福祉関係の皆様、実習等を受け入れてくださった企業の皆様などたくさんの皆様に支えられてここまでこられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。卒業を迎え、「支援学校で学べて良かった。私たちの選択は間違っていなかった」と確信しています。本当にありがとうございました。

☆たくさんのご支援をいただき大変ありがとうございました。心も体も大きく成長した3年間だったと思います。病欠以外の欠席はゼロでしたので、息子も学校生活が楽しかったのだらうと思います。息子のこだわりを利用して日課をこなすこともできました。卒業後は新たな入所施設に入ります。とにかくうまく新しい生活に慣れて落ち着いて過ごせるようになればと思っています。時間はたくさんかかるかもしれませんが、将来的にはグループホームで自立した生活ができるようになってほしいです。そのために施設の方と協力しながら努力していきたいと思っています。3年間大変お世話になりました。

☆小学部6年生から高等部3年生までの7年間お世話になりました。とても長い学校生活だったと思います。学校を通じていろいろなことを学ぶことができ良かったと思います。先生方やいろいろな皆様に助けていただいたり親切にしてくださいありがとうございました。4月からは新しく仕事をするということで、これまでの実習でがんばったことを目標にして仕事や家の手伝いをがんばってやってもらいたいと思っています。ゆっくりでいいので新しい生活に慣れるようになってもらいたいと思います。これからは新しい職場で友だちを作っているいろいろなことを学んでほしいと思います。



☆高等部の最初からお世話になりました。いろいろな授業を通してご指導いただきましたことが職場実習で検証、確認されて、実になったのだと心から感謝申し上げます。おかげさまで早々の内定をいただき、両親、家族みんな喜んでおります。4月から社会人として学生とは全く違う環境、生活となるわけですが、悩み、辛い時にはご相談させていただく場面もあろうかと存じます。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。3年間本当にありがとうございました。

☆高等部から入学し「3年経ったら社会人」というスローガンのもと、クラスで気の合う友だちができ、一緒に学べて本当に良かったです。ありがとうございます。お世話になりました。卒業してから企業で働くようになりますが、優先順位を考えて、今やらなければいけないことに集中して取り組み、がんばってほしいです。そして何か分からないことや困ったことがあったら自分から聞き、報告、連絡、相談がしっかりできるようになってほしいです。自分の体調に気を付けて風邪をひかずに元気ががんばってほしいです。毎日笑顔で自信と勇気をもって胸を張ってがんばってほしいと思います。

☆中学部1年生から高等部3年生までの6年間お世話になりました。子どもたち一人一人に合った学習や職業技能の学習、現場実習などが行われ、卒業後またこれからの人生において必要な仕事や人との関わり合いなど大事なことをたくさん学びました。たいへん勉強になったと思います。卒業後は働くことの楽しさ難しさなど、まだまだこれから、今まで直面したことの無いことばかり出てくると思いますが、これまでは学校任せのことが多かったので今度は家族で見守っていきたいと思います。

☆とにかくよく動き回り、毎日泣いたり怒ったりばかりでどうやって育てていけばいいのかわかりませんでした。特別支援学校に入学し特別支援教育を受け、子どもも親もたくさんのお話を学びました。泣いても怒っても暴れてもダメなものはダメ！オレがオレがのオレ様ではなく、「人の言うことを聞けること」「がまんすること」を学ばせるために、先生方と一緒に子どもとたくさんたたかい、この二つが身に付いた時に親の私は少し楽になったような気がしました。その後は椅子に座って勉強ができるようになり、言葉も少しずつ出てきました。たくさんたたかった小学部が終わり、中学部へ。そして高等部も終わり4月からは社会人になります。これからはいろいろなことがあると思いますが、強く、やさしく、笑顔で毎日がんばってもらいたいです。子どもと親の私を強くしてくれた先生方、他にも関わってくださったすべての皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

☆小さかった我が子が特別支援学校高等部を卒業。入学した頃は今の姿を想像できませんでした。家で食べられない物が学校で食べられるようになり、家でできないことが学校でできるようになり……。12年間たくさんの先生方と出会い、一緒に育てていただきました。うちの子には無理かもしれない……。そんな風に思っていたのですが、できる可能性を見つけていただき、できる



環境を与えていただき、春からは社会人。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。与えていただいた環境で、これからも一つ一つ可能性を信じ、親子共々ががんばっていきたいと思います。

\* 原稿を寄せてくださった保護者の皆様、  
貴重な声をありがとうございました。  
心より感謝申し上げます。



### 平成29年度卒業生の進路状況を報告します

卒業生数 12名

福祉サービス事業所利用	4名		
一般就労	7名	(内訳)	農業 1名
			製造業 3名
			サービス業 2名
			福祉 1名
その他	1名		

学校卒業は、社会人としてのスタート！  
今後とも、社会へ巣立つみなさんの応援をよろしく  
お願いします。



### 【自立と社会参加をめざして…進路指導への思い】

「進路指導」というと卒業後の進路先をどうするか？の指導と思われそうですが、実はもっと大切な指導があります。それは「姿」への指導です。見た目のみの姿ではありません。心のあり方から表出する姿です。姿勢、表情、声、言葉遣いなどに表れる礼儀、態度のことです。小から中へ、中から高へ、高から社会人へと次のステージへどのような姿で送り出すのか？目指す姿に向かって指導することが「進路指導」だと思います。これらは日常生活習慣の中で人と関わり合いながら育まれる力なのだと思います。(不思議なことに「姿」が磨かれてくると、進路先は自ずと向こうからやってきます。進路先から求められる人になる！伸びるベースとなる力をもつ！ということにつながるのだと思います)

私は「未来の见えない子どもたち(親)に未来を見せていく進路指導」を心がけています。社会人として順調に歩む卒業生があり、また度重なる困難に出会う卒業生もあります。くじけそうになった時も相談し合い、また歩み出す姿があります。このように卒業生の姿から学ぶことが多くあり、「進路面談」や「進路教室」、「進路セミナー」で紹介し

ています。これからも日々の生活習慣を見直し、将来の姿に向かって学び合い、実践し、お子さんの姿を磨いていってほしいと願っています。



## 今年度の『進路教室』が終わりました。 一年間ありがとうございました。

『進路教室』が終了しました。参加状況は次のとおりです。

- 第1回 5月26日(金)13人 (中学部1人、高等部4人、相談支援員2人、当校教員3人、他校保護者3人)
- 第2回 6月16日(金)17人 (小学部2人、中学部1人、高等部10人、当校教員4人)
- 第3回 7月14日(金) 9人 (高等部4人、相談支援員4人、当校教員1人)
- 第4回 9月15日(金)52人 (中学部2人、高等部8人、相談支援員22人、当校教員15人、その他5人)
- 第5回10月27日(金)10人 (高等部5人、相談支援員2人、他校教員2人、その他1人)
- 第6回11月17日(金) 9人 (中学部4人、高等部2人、相談支援員2人、その他1人)
- 第7回 1月19日(金) 5人 (高等部3人、相談支援員1人、その他1人、当校教員1人)
- 第8回 2月23日(金) 3人 (高等部1人、相談支援員1人、当校職員1人)

今年度も、毎回相談支援員の皆様が参加してくださいました。子供たちの幸せを願い、共に学び、連携して相談を進めることができましたことをたいへん嬉しく思います。地域の相談支援員の皆様に心から感謝申し上げます。

保護者の皆様、これからも一緒に勉強していきましょう。次年度も、多くの皆様と学び合えることを楽しみにしております。

お問い合わせ等がございましたら進路指導部までご連絡ください。

新潟県立小出特別支援学校 進路指導部 (田野辺智光)  
TEL 025-792-5412 FAX 025-792-9270

希望の春！！

さあ、新しい一歩を踏み出そう。



